



| | |
|--------------|---|
| Title | 阪大法学 58巻 6号 表紙／目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 阪大法学. 2009, 58(6) |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/54840 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大法学

論 説

- 「騙取金銭による弁済と不当利得」覚え書き……………平田 健治… 1
- ドイツ約款法における時価条項判決の問題について（二・完）
——不当条項規制効果論に関する一考察——……………武田 直大… 27
- いわゆる取材源秘匿権の法理 ……………前田 正義… 71
- ネットワーク環境における著作権保護の日中比較（二・完）
——間接関与者の責任を中心に—— ……………陳 思勤…101
- 行政裁量の法構造的把握
——H. Kelsen による法学的方法の展開とその現代的意義——
……………高田 倫子…125

判 例 研 究

- 別除権行使による主たる債務の弁済と手続開始時現存額主義
——大阪高判平成二〇年五月三〇日判タ一六九号一〇三頁、
大阪高判平成二〇年四月一七日金法一八四一号四五頁——
……………藤本 利一…155

雑 録

- 平成二〇年度一学期法学部試験問題
「阪大法学」第五八巻総目次

第58巻 第6号

(通巻第 258 号)

(2009年 3月)

大阪大学法学会